

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	リサイクルプラザ施設管理事業						担当部	環境交通部							
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	リサイクルプラザ								
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	清掃資源係							
	総合計画 分野別計画	主目的	2 環境交通		6 ごみ対策		1 3Rを推進する									
		副目的														
	予算区分	款	4		項	2		目	2		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、小牧市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	34 %			委託	66 %			助成	0 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	市内で回収された資源(空きびん、空き缶、ペットボトル)の再資源化のため、適正な管理を行う。														
	内容 (手段)	<p>市内で回収された資源(空きびん、空き缶、ペットボトル)の選別・圧縮・梱包の中間処理を行ない、再資源化事業者に引渡した。 リサイクルプラザ運転委託等の委託管理業務を行った。 また、空きびん、空き缶、ペットボトルの手選別業務を行った。</p> <p>【直接経費の内訳】 リサイクルプラザ運転委託料(34,125千円) リサイクルプラザ設備保守管理委託料(15,128千円) リサイクルプラザ施設管理委託料(6,922千円) ごみ選別委託料(10,892千円) 粗大ごみ修理委託料(701千円) 樹木管理委託料(386千円) 空き缶等供給コンベヤ等修繕料(22,194千円) 光熱水費・消耗品費・燃料費(8,483千円) 駐車場用地借上料等(1,067千円) 電話代等(950千円)</p> <p>【その他財源の内容】 職員等駐車場利用負担金(1,165千円) 自動販売機光熱水費負担金(35千円)</p> <p>○24年度実施内容 23年度と同様に実施する。</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	94,213	93,079	100,848	105,405	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.30	0.30	0.25
			人件費	千円	1,595	1,595	1,595	1,329
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.10	0.10
			人件費	千円	0	0	147	147
		費用合計	千円	95,808	94,674	102,590	106,881	
	対前年比	%		98.8	108.3	104.1		
財源	一般財源	千円	94,573	93,444	101,390	105,612		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	1,235	1,230	1,200	1,269		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
			実績				
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	資源の処理量	t	目標	—	—	—	—
			実績	1,431	1,531	1,522	
			目標				
			実績				
			実績				
		実績					

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	市民生活から排出された資源(空き缶、空きびん、ペットボトル)1522トンの中間処理をするため適正な管理に努めた。また、施設の管理、補修等により適正な施設の維持管理が図れている。				
		事業実施における課題等	平成16年3月末に竣工したので、8年経過し施設の維持管理に補修等の費用が増加してきた。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	市民生活から排出された資源(空き缶、空きびん、ペットボトル)の中間処理ができなくなり、再資源化が図れなくなる。				
	今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持				
		判定理由	再資源化のための中間処理や施設の管理、補修等を適正に執行できているため。				
		改善案等	長期設備維持管理計画及び機械設備保守点検の結果に基づき計画的な修繕・補修に努める。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。